

## 2022年度(令和4年度)第1回常任幹事会(新旧合同常任幹事会)

日時: 2022年3月11日(金) 13:00~14:50

会場: Cisco Webexによるオンライン会議

出席者(敬称略): 石切山一彦((株)東レリサーチセンター), 岩月聡史(甲南大学), 大城敬人(大阪大学), 奥田 浩子((株)島津テクノリサーチ), 糟野潤(龍谷大学), 北隅優希(京都大学), 北山紗織(紀本電子工業(株)), 久保拓也(京都大学), 桑本恵子((株)堀場アドバンスドテクノ), 小池 亮(花王(株)), 駒谷 慎太郎((株)堀場テクノサービス), 末吉健志(大阪府立大学), 諏訪雅頼(大阪大学), 高原晃里((株)リガク), 田中陽(理化学研究所), 鳥羽真由子(サントリーホールディングス(株)) 中田靖(大阪府立大学), 堀田弘樹(神戸大学), 向井浩(京都教育大学) 村松康司(兵庫県立大学), 森澤勇介(近畿大学), 森田成昭(大阪電気通信大学), 山口英一((株)日立ハイテクサイエンス), 山本佐知雄(近畿大学) 山本雅博(甲南大学)

## 0-1. 支部長挨拶

池田重良先生, 梅谷重夫先生, また11年前の東日本大震災の犠牲者の追悼を込めまして黙祷を行った後, 村松支部長の挨拶が行われた。

## 0-2. 前回議事録の確認

資料 No. 1 に基づき, 北隅庶務幹事より, 前回幹事会の議事録確認が呼びかけられた。

## 1. 新旧常任幹事およびWG担当案の紹介

北隅庶務幹事より資料No. 2の順に2022年度常任幹事の紹介および, 出席者による挨拶が行われた。

## 2. 本部理事会報告

村松支部長より資料 No. 3に基づいて2022年2月22日に開催された理事会について説明があった

- ・資料 No. 3-7 理事会に出席する近畿支部会員の紹介
- ・資料 No. 3-13 近畿支部から各賞へ推薦
- ・資料 No. 3-16 本部事務職員の昇給幅が2号棒に
- ・資料 No. 3-17 キャッシュフローについて例年より会費の入金が遅いのは, 会員システムがアトラス社に切り替りクレジットの入金が遅いため。
- ・資料 No. 3-18,27 Analytical SciencesのSpringerNature社への移管など大きな支出の変化があり, 688万円の黒字となる予算案

・資料 No. 3-28,29 来年度黒字となること、遊休財産が事業費を超えてはいけないことを踏まえて、基金への積み増し予定。

資料 No. 3-31 第82回分析化学討論会は関東支部により準備され、現状では対面での開催を準備し、新型コロナウイルス感染症の状況も踏まえて、一部口頭発表会場のストリーミング配信を検討中。

資料 No. 3-42 会員数について減少傾向であるが5000人とどまっている

資料 No. 3-58 本部委員会功労賞の新設が検討中。

### 3. 2021 年度 支部関係報告

#### 3-1 2021 年度 近畿支部 事業報告

資料No. 4に基づき、北隅庶務幹事より事業報告が行われた、新型コロナウイルスの影響のため、常任幹事会、幹事会はweb開催で実施され、ぶんせき講習会(基礎編その1)はweb開催となったが、ぶんせき講習会 基礎編その2・実践編が中止となったことが報告された。

#### 3-2 2021 年度 近畿支部 会計決算報告

資料No. 5に基づいて、責任者の小池会計幹事より2021年度の支部会計決算報告がなされた。予算との大きな違いは、近分懇会費が減少、70年会分の分配金が組み込まれていること(本部補助金・学会費補助金)、コロナによる影響による講習会・若手セミナーのweb開催および中止によること、通常業務における事務処理のお礼として合同事務局へPCを2台購入したことが説明された。2021年度は220万円程度の黒字となった。

### 4. 2022 年度 近畿支部事業予定

#### 4-1 支部役員について

資料No.6に基づいて北隅庶務幹事より2022年度の役員一覧が紹介された。村松支部長より大堺利行幹事の参与への推薦が提案された。

#### 4-2 常任幹事会・幹事会スケジュール

資料No.7に基づいて北隅庶務幹事より2022年度近畿支部事業計画が説明された。

#### 4-3 ぶんせき講習会

資料No.8に基づいて岩月委員長より、2022年度担当者について紹介があった。ぶんせき講習会について、基礎編その1はweb開催で順調に準備が進んでおり、対面開催の基礎編その2については、コロナの状況を見守りつつ、できる限り開催する方向で準備を進めていることが報告された。実践編について会告・チラシについて提案があり、常任幹事会にて承認を行った。発展編について森田前委員長により準備されていることが報告された。また、1月7日に実施された第2回実行委員会において、1)協賛学会の見直し、2)講習会の日程および講師依頼のプロセスについて、3)発展編の実

施について議論を行ったことが報告された。また、2021年度の各事業の決算について資料の紹介があった。

#### 4-4 支部講演会WG

資料No. 9に基づいて、向井幹事より2021年度の事業報告があった。また、4月に実施予定の第1回支部講演会について、許岩先生、鈴木茂生先生の講演の準備を行っていることが報告された。また、第2回の講師として大塚利行先生、中山茂吉先生で準備をしていることが報告された。討議事項として、第1回講演会についてどのように実施するか議論を行った。これに対し、ハイブリッドでの開催の提案があった。ハイブリッド開催については、大阪府のまん延防止重点措置（～3月21日）が延長されないこと、会場となる科学技術センターでの開催条件を考慮する事とし、支部長・庶務幹事により早期に判断し、実施する場合は準備することが承認された。

#### 4-5 提案公募型セミナーWG

資料No. 10に基づいて北隅庶務幹事から提案公募セミナー募集の呼びかけがあった。

#### 4-6 ホームページ&ニュースWG

資料No. 11に基づき、責任者の田中委員より、2021年度にぶんきんニュース51号、52号の発行されたこと、2022年度には3号の発行を予定している事。企業バナーに関しては、引き続き募集するということが説明された。

#### 4-7 若手セミナーWG

資料No.12に基づいて久保幹事より準備状況の報告があった。8月4~5日で対面での実施で準備している事。島津製作所の協力を得て、順調に準備が進んでいることが報告された。

### 5. 2022 年度 近畿支部予算案

資料 No. 5に基づき糟野会計幹事より2022年度の支部予算案が説明された。対面実施を想定して2019年度決算額を参考に予算を作成したことが説明された。

村松支部長より70年会の分配金により黒字になったために、2022年度に基金に積み増す旨提案があった。積み増す額については前例を調べて決定する旨説明があった。

### 6. 2022 年度 役員選考委員選出の件

資料 No. 13に基づき北隅庶務幹事より役員選考委員選出に関する推薦の呼びかけがあった。

### 7. その他

・村松支部長より 2024 年度討論会の場所について、第一候補を京都方面として、前田先生に実行委員長を依頼するという提案があり、意向を確認することが説明された。

・山本雅博次期支部長より、近分懇の基金についての使用についての質問があり、小池

会計幹事からは、ここ 2 年間は奨励賞の事業費としての利用のみになっているとの報告があった。今後近分懇にメリットのある使途を考える必要があるという意見があった。＜補足＞小池会計幹事より合同事務局河合氏へ確認したことについて、以下のような回答があった旨、補足があった。

① 近分懇の資産が近畿支部に組み込まれた時期と理由

2011 年(平成 23)に分析化学会近畿支部の雑収入として繰り入れられた。繰り入れ時は約 113 万(普通+定期)。それまでは単独で決算をしており支部幹事会で報告されていた。

② 近分懇の資産は近畿支部の活動に活用できるのか？

支部の流動資産なので支部活動に使える。若手の会基金のように特定資産ではない現在は奨励賞のみ。2013 年(平成 25)までは国際交流助成があり、年間 2～3 名、一人 10 万～12 万の助成金を計上していた。